



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

新連載!

no.01

印刷産業機械の大手製造メーカー・株式会社ミヤコシのグループ企業として昭和56年に旧太田町で操業を開始した宮腰精機株式会社(宮腰巖代表取締役社長)。
現在、太田地域に国見工場、西仙北地域に刈和野工場、北野目工場と、市内3カ所に工場を構え、各種業務用印刷機などを生産しています。国見工場と刈和野工場が連携することで、製品の受注から設計、製造、納品までの作業全てを市内の工場で行っていることが特徴のひとつです。

製造しているのは、請求書や運送伝票、ダイレクトメールなどの印刷に使われるビジネスフォーム印刷機や、宝くじや通帳、マークシートなどの印刷に使われる証券印刷機、歯磨き粉チューブ等の曲面印刷機など。出荷先は国内にとどまらず、イタリアをはじめとするヨーロッパ諸国や中国などのアジア諸国のおよそ14カ国に販路を広げ、堅調に売り上げを伸ばしています。今後は、進歩が目覚ましい電子媒体や、ペーパーレス化しない特殊印刷(牛乳パックやラベルシールなどの分野をさらに強化したい考えです)。

また、北野目工場では、県産のラピリ(火山れき)を材料にした住宅建築用の内装材を製品化する事業も開始。事業の多角化にも意欲的に挑戦しています。



今回の案内人は(写真左から)高橋清修事業開発部次長、松淵正夫監査役、宮腰巖代表取締役社長、天川靖宏工場長です

産業用印刷機を世界に発信!

宮腰精機株式会社(太田・西仙北)

製造品目/業務用印刷機

従業員数/国見工場(太田) 139人

刈和野工場(西仙北) 86人

※従業員数は全て正規雇用者の数